

へき地勤務経験あり	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
E大卒業生(93名)	11	70
他大卒業生(436名)	18	382

$\chi^2 = 9.803$

(両側検定)  $P = 0.00413$  有意水準 1% で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

へき地勤務経験なし	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
E大卒業生(11名)	3	8
他大卒業生(638名)	23	569

$\chi^2 = 14.31$

(両側検定)  $P = 0.00935$  有意水準 1% で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

E大学、それ以外の大学ともに、同一群内では、へき地勤務経験の有無で差は認められなかった。  
勤務経験の有無の群内では、あり・なしともにE大学と他大学との間に有意な差が認められた。

b) 2 × 2 表での分析[意欲的+肯定的]

へき地勤務	出身大学	(意欲的+肯定的) (1-3)	消極的 (4-5)	(意欲的+肯定的) / [(意欲的+肯定的)+(消極的)](%)
経験あり	E大学卒業生(93名)	52	29	64.2
	他大学卒業生(436名)	203	197	50.8
	不明(19名)	6	10	37.5
	計(548名)	261	236	52.5
経験なし	E大学卒業生(11名)	10	1	90.9
	他大学卒業生(638名)	270	322	45.6
	不明(28名)	10	15	40.0
	計(677名)	290	338	46.2

他大学卒業生	(意欲的+肯定的)	消極的
経験あり(436名)	203	197
経験なし(638名)	270	322

$\chi^2 = 2.530$

(両側検定)  $P = 0.12004$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

E大学卒業生	(意欲的+肯定的)	消極的
経験あり(93名)	52	29
経験なし(11名)	10	1

$\chi^2 = 3.144$

(両側検定)  $P = 0.09525$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

へき地勤務経験あり	(意欲的+肯定的)	消極的
E大学(93名)	52	29
E大学以外(436名)	203	197

$\chi^2 = 4.890$

(両側検定)  $P = 0.02844$  有意水準 1% で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

へき地勤務経験なし	(意欲的+肯定的)	消極的
E大学(11名)	10	1
E大学以外(638名)	270	322

$\chi^2 = 8.910$

(両側検定)  $P = 0.00371$  有意水準 1% で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

E大学、それ以外の大学ともに、同一群内では、へき地勤務経験の有無で差は認められなかった。  
勤務経験の有無の群内では、あり・なしともにE大学と他大学との間に有意な差が認められた。

(7) 初期臨床研修の方式別 [%]

《初期臨床研修の方式》	1. 解決しなくとも赴任したい (意欲的)	2. 積極的に赴任したいと思う	3. 上記以外の課題が解決したら、良い	1-3. (意欲的 + 肯定的)	4. あまり赴任したくない	5. 絶対に赴任したくない	4+5. (消極的)	6. わからない	無回答
総合診療(478名)	8.4	11.7	33.7	53.8	31.0	7.5	38.5	6.7	1.0
内科ストレート(156名)	1.9	7.1	26.9	35.9	38.5	16.0	54.5	8.3	1.3
外科ストレート(110名)	0.9	8.2	36.4	45.5	36.4	11.8	48.2	5.5	0.9
他科ストレート(224名)	3.1	8.0	31.3	42.4	32.1	17.0	49.1	7.1	1.3
その他(84名)	3.6	7.1	32.1	42.9	35.7	13.1	48.8	7.1	1.2
受けていない(143名)	0.7	4.2	28.0	32.9	45.5	9.8	55.2	9.8	2.1
無回答(45名)	6.7	2.2	24.4	33.3	37.8	15.6	53.3	4.4	8.9
全体(1240名)	4.7	8.6	31.5	44.8	34.8	11.6	46.5	7.2	1.5

総合診療方式で研修した医師は、1. (意欲的)な医師の割合および(意欲的+肯定的)な医師の割合ともに高かった。

a) 2×2表での分析[意欲的] (6. わからないおよび無回答を除く)

《初期臨床研修の方式》	1. (意欲的)	それ以外(2-5)	(意欲的) / [(意欲的)+(それ以外)](%)
総合診療(441名)	40	401	9.1
内科ストレート(141名)	3	138	2.1
外科ストレート(103名)	1	102	1.0
他科ストレート(205名)	7	198	3.4
ストレート全体(449名)	11	438	2.4
その他(77名)	3	74	3.9
受けていない(126名)	1	125	0.8
無回答(33名)	3	36	7.7
全体(1132名)	58	1074	5.1

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
総合診療(441名)	40	401
内科ストレート(141名)	3	138

$\chi^2 = 7.526$   
 (両側検定)  $P = 0.00868$  有意水準1%で有意  
 [Fisherの直接確率計算法(2×2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
総合診療(441名)	40	401
外科ストレート(103名)	1	102

$\chi^2 = 7.860$   
 (両側検定)  $P = 0.00585$  有意水準1%で有意  
 [Fisherの直接確率計算法(2×2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
総合診療(441名)	40	401
他科ストレート(205名)	7	198

$\chi^2 = 6.635$   
 (両側検定)  $P = 0.01370$  有意水準5%で有意  
 [Fisherの直接確率計算法(2×2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
総合診療(441名)	40	401
その他(77名)	3	74

$\chi^2 = 2.306$   
(両側検定)  $P = 0.17752$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
総合診療(441名)	40	401
受けていない(126名)	1	125

$\chi^2 = 10.01$   
(両側検定)  $P = 0.00137$  有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
総合診療(441名)	40	401
ストレート全体(449名)	11	438

$\chi^2 = 18.05$   
(両側検定)  $P = 0.00002$  有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
内科ストレート(141名)	3	138
外科ストレート(103名)	1	102

$\chi^2 = 0.494$   
(両側検定)  $P = 0.64016$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
内科ストレート(141名)	3	138
他科ストレート(205名)	7	198

$\chi^2 = 0.493$   
(両側検定)  $P = 0.53686$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
内科ストレート(141名)	3	138
その他(77名)	3	74

$\chi^2 = 0.582$   
(両側検定)  $P = 0.66808$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
内科ストレート(141名)	3	138
受けていない(126名)	1	125

$\chi^2 = 0.802$   
(両側検定)  $P = 0.62456$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
外科ストレート(103名)	1	102
他科ストレート(205名)	7	198

$\chi^2 = 1.618$   
(両側検定)  $P = 0.27599$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
外科ストレート(103名)	1	102
その他(77名)	3	74

$\chi^2 = 1.735$   
(両側検定)  $P = 0.31466$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
外科ストレート(103名)	1	102
受けていない(126名)	1	125

$\chi^2 = 0.0206$   
(両側検定)  $P = 1.00000$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
他科ストレート(205名)	7	198
その他(77名)	3	74

$\chi^2 = 0.037$   
(両側検定)  $P = 1.00000$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
他科ストレート(205名)	7	198
受けていない(126名)	1	125

$$\chi^2 = 2.273$$

(両側検定) P = 0.16208 有意差なし

[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
その他(77名)	3	74
受けていない(126名)	1	125

$$\chi^2 = 2.382$$

(両側検定) P = 0.29962 有意差なし

[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

総合診療 vs. 内科ストレート、総合診療 vs. 外科ストレート、総合診療 vs. 他科ストレート、総合診療 vs. 全ストレート、総合診療 vs. 受けていない、の間で有意差が認められた。

b) 2 × 2表での分析[意欲的+肯定的]

《初期臨床研修の方式》	(意欲+肯定) (1-3)	消極的 (4-5)	(意欲的+肯定的) / [(意欲的+肯定的)+(消極的)](%)
総合診療(441名)	257	184	58.3
内科ストレート(141名)	56	85	39.7
外科ストレート(103名)	50	53	48.5
他科ストレート(205名)	95	110	46.3
ストレート全体(449名)	201	248	44.8
その他(77名)	36	41	46.8
受けていない(126名)	47	79	37.3
無回答(33名)	15	24	38.5
全体(1132名)	556	576	49.1

	意欲的+肯定的	消極的
総合診療(441名)	257	184
内科ストレート(141名)	56	85

$\chi^2 = 14.81$   
(両側検定)  $P = 0.00015$  有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
総合診療(441名)	257	184
外科ストレート(103名)	50	53

$\chi^2 = 3.217$   
(両側検定)  $P = 0.07811$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
総合診療(441名)	257	184
他科ストレート(205名)	95	110

$\chi^2 = 8.039$   
(両側検定)  $P = 0.00510$  有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
総合診療(441名)	257	184
その他(77名)	36	41

$\chi^2 = 3.543$   
(両側検定)  $P = 0.06278$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
総合診療(441名)	257	184
受けていない(126名)	47	79

$\chi^2 = 17.34$   
(両側検定)  $P = 0.00003$  有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
総合診療(441名)	257	184
ストレート全体(449名)	201	248

$\chi^2 = 16.26$   
(両側検定)  $P = 0.00006$  有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
内科ストレート(141名)	56	85
外科ストレート(103名)	50	53

$\chi^2 = 1.888$   
(両側検定)  $P = 0.19181$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
内科ストレート(141名)	56	85
他科ストレート(205名)	95	110

$\chi^2 = 1.491$   
(両側検定)  $P = 0.22744$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
内科ストレート(141名)	56	85
その他(77名)	36	41

$\chi^2 = 1.011$   
 (両側検定)  $P = 0.31985$  有意差なし  
 [Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
内科ストレート(141名)	56	85
受けていない(126名)	47	79

$\chi^2 = 0.163$   
 (両側検定)  $P = 0.70711$  有意差なし  
 [Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
外科ストレート(103名)	50	53
他科ストレート(205名)	95	110

$\chi^2 = 0.133$   
 (両側検定)  $P = 0.71857$  有意差なし  
 [Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
外科ストレート(103名)	50	53
その他(77名)	36	41

$\chi^2 = 0.056$   
 (両側検定)  $P = 0.88044$  有意差なし  
 [Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
外科ストレート(103名)	50	53
受けていない(126名)	47	79

$\chi^2 = 2.934$   
 (両側検定)  $P = 0.10673$  有意差なし  
 [Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
他科ストレート(205名)	95	110
その他(77名)	36	41

$\chi^2 = 0.004$   
 (両側検定)  $P = 1.00000$  有意差なし  
 [Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
他科ストレート(205名)	95	110
受けていない(126名)	47	79

$\chi^2 = 2.603$   
 (両側検定)  $P = 0.11105$  有意差なし  
 [Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
その他(77名)	36	41
受けていない(126名)	47	79

$\chi^2 = 1.767$   
 (両側検定)  $P = 0.18957$  有意差なし  
 [Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

総合診療 vs. 内科ストレート、総合診療 vs. 他科ストレート、総合診療 vs. 受けていない、  
 総合診療 vs. 全ストレートで有意差あり。  
 総合診療 vs. 外科ストレートでは有意差が認められなかった。

(8) 総合診療に対する指向別 [%]

《総合診療に対する指向》	1. 解決しなくとも赴任したい (意欲的)	2. 積極的に赴任したいと思う	3. 上記以外の課題が解決したら、良い	1-3. (意欲的 + 肯定的)	4. あまり赴任したくない	5. 絶対に赴任したくない	4+5. (消極的)	6. わからない	無回答
1) 総合診療に対する指向あり(117名)	12.0	26.5	35.9	74.4	14.5	0.9	15.4	9.4	0.9
2) 総合診療に理解のある専門医(710名)	2.7	4.4	28.7	35.8	42.3	14.5	56.8	6.6	0.8
3) 将来の総合診療に含み(280名)	6.4	13.2	39.6	59.3	26.8	7.1	33.9	6.4	0.4
4) 総合診療に賛同できない(21名)	4.8	0.0	33.3	38.1	42.9	19.0	61.9	0.0	0.0
5) 総合診療の概念が理解できない(31名)	3.2	6.5	38.7	48.4	12.9	9.7	22.6	25.8	3.2
6) その他(32名)	6.3	6.3	25.0	37.5	28.1	21.9	50.0	6.3	6.3
無回答(49名)	6.1	8.2	14.3	28.6	36.7	12.2	49.0	6.1	16.3
全体(1240名)	4.7	8.6	31.5	44.8	34.8	11.6	46.5	7.2	1.5

総合診療に対する指向を持つ医師は、1. (意欲的)な医師の割合および(意欲的+肯定的)な医師の割合ともに高かった。つづいて、そのうち総合診療をやってみたいとする医師の割合が高かった。

a) 2×2表での分析[意欲的] (6. わからないおよび無回答を除く)

《総合診療に対する指向》 \ 《赴任の意思》	1. (意欲的)	それ以外 (2-5)	(意欲的) / [(意欲的)+(それ以外)](%)
1) 総合診療に対する指向あり(105名)	14	91	13.3
2) 総合診療に理解のある専門医(657名)	19	638	2.9
3) 将来の総合診療に含み(261名)	18	243	6.9
4) 総合診療に賛同できない(21名)	1	20	4.8
5) 総合診療の概念が理解できない(22名)	1	21	4.5
6) その他(28名)	2	26	7.1
無回答(38名)	3	35	7.9
全体(1132名)	58	1074	5.1

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
1) 指向あり(105名)	14	91
2) 専門医を指向(657名)	19	638

$\chi^2 = 23.82$   
 (両側検定)  $P = 0.00003$  有意水準1%で有意  
 [Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
1) 指向あり(105名)	14	91
3) 将来に含み(261名)	18	243

$\chi^2 = 3.888$   
 (両側検定)  $P = 0.06423$  有意差なし  
 [Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
1) 指向あり(105名)	14	91
4) 賛同できない(21名)	1	20

$\chi^2 = 1.225$   
(両側検定)  $P = 0.46280$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
1) 指向あり(105名)	14	91
5) 理解できない(22名)	1	21

$\chi^2 = 1.349$   
(両側検定)  $P = 0.30980$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
2) 専門医を指向(657名)	19	638
3) 将来に含み(261名)	18	243

$\chi^2 = 7.745$   
(両側検定)  $P = 0.00842$  有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
2) 専門医を指向(657名)	19	638
4) 賛同できない(21名)	1	20

$\chi^2 = 0.249$   
(両側検定)  $P = 1.00000$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
2) 専門医を指向(657名)	19	638
5) 理解できない(22名)	1	21

$\chi^2 = 0.204$   
(両側検定)  $P = 1.00000$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
1)-3) 賛同する(1023名)	51	972
4)-5) 賛同・理解できない(43名)	2	41

$\chi^2 = 0.010$   
(両側検定)  $P = 1.00000$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
1) 指向あり(105名)	14	91
2)-5) 指向以外(961名)	18	243

$\chi^2 = 17.24$   
(両側検定)  $P = 0.00031$  有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)
1)+3) 指向あり+将来に含み(366名)	32	334
2)+4)+5) 専門医指向、賛同・理解できない(700名)	21	679

$\chi^2 = 16.77$   
(両側検定)  $P = 0.00007$  有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2表)]

総合診療を指向する診療を行いたいと考えている医師は、「専門医指向の医師」と「それ以外の医師」にくらべて、へき地医療に意欲的であることが判明した。

そのうち総合診療を行いたいと考えている医師は、「専門医指向の医師」にくらべて、へき地医療に意欲的であった。

現在または将来に、総合診療を指向する診療を行いたいと考えている医師は「専門医指向の医師」および「賛同できない」「理解できない」医師にくらべて、へき地医療に意欲的であった。

b) 2 × 2 表での分析[意欲的+肯定的]

《総合診療に対する指向》 \ 《赴任の意思》	(意欲的+肯定的) (1-3)	消極的 (4-5)	(意欲的+肯定的) / [(意欲的+肯定的)+(消極的)] (%)
1) 総合診療に対する指向あり(105名)	87	18	82.9
2) 総合診療に理解のある専門医(657名)	254	403	38.7
3) 将来の総合診療に含み(261名)	166	95	63.6
4) 総合診療に賛同できない(21名)	8	13	38.1
5) 総合診療の概念が理解できない(22名)	15	7	68.2
6) その他(28名)	12	16	42.9
無回答(38名)	14	24	36.8
全体(1132名)	556	576	49.1

	意欲的+肯定的	消極的
1) 指向あり(105名)	87	18
2) 専門医を指向(657名)	254	403

$$\chi^2 = 71.52$$

(両側検定)  $P < 0.00001$  有意水準 1% で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

	意欲的+肯定的	消極的
1) 指向あり(105名)	87	18
3) 将来に含み(261名)	166	95

$$\chi^2 = 13.01$$

(両側検定)  $P = 0.00042$  有意水準 1% で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

	意欲的+肯定的	消極的
1) 指向あり(105名)	87	18
4) 賛同できない(21名)	8	13

$$\chi^2 = 18.90$$

(両側検定)  $P = 0.00007$  有意水準 1% で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

	意欲的+肯定的	消極的
1) 指向あり(105名)	87	18
5) 理解できない(22名)	15	7

$$\chi^2 = 2.478$$

(両側検定)  $P = 0.14102$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

	意欲的+肯定的	消極的
2) 専門医を指向(657名)	254	403
3) 将来に含み(261名)	166	95

$$\chi^2 = 46.82$$

(両側検定)  $P < 0.00001$  有意水準 1% で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

	意欲的+肯定的	消極的
2) 専門医を指向(657名)	254	403
4) 賛同できない(21名)	8	13

$$\chi^2 = 0.002$$

(両側検定)  $P = 1.00000$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

	意欲的+肯定的	消極的
2) 専門医を指向(657名)	254	403
5) 理解できない(22名)	15	7

$$\chi^2 = 7.755$$

(両側検定)  $P = 0.00714$  有意水準 1% で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

	意欲的+肯定的	消極的
1)-3) 賛同する(1023名)	507	516
4)-5) 賛同・理解できない(43名)	23	20

$$\chi^2 = 0.255$$

(両側検定)  $P = 0.64323$  有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

	意欲的+肯定的	消極的
1) 指向あり(105名)	87	18
2)-5) 指向以外(961名)	443	518

$$\chi^2 = 51.16$$

(両側検定)  $P < 0.00001$  有意水準 1% で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

	意欲的+肯定的	消極的
指向あり+将来に含み [1+3] (366名)	253	113
2)+4)+5) 専門医指向、賛 同・理解できない(700 名)	277	423

$$\chi^2 = 83.97$$

(両側検定)  $P < 0.00001$  有意水準 1% で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2 × 2 表)]

総合診療を指向する診療を行いたいと考えている医師は、「専門医指向の医師」、「総合診療指向以外の医師」、「賛同できない医師」にくらべて、へき地医療に意欲的ないし肯定的に考える割合が高かった。

そのうち総合診療を行いたいと考えている医師は、「専門医指向の医師」にくらべて、へき地医療に意欲的ないし肯定的であった。

総合診療の概念が「理解できない」とする医師は、「専門医指向の医師」にくらべて、へき地医療に意欲的ないし肯定的であった。

「理解できない」とする医師には、総合診療の概念に飽き足らないへき地指向の医師が含まれているのかも知れない。

現在または将来に、総合診療を指向する診療を行いたいと考えている医師は「専門医指向の医師」および「賛同できない」「理解できない」医師にくらべて、へき地医療に意欲的ないし肯定的であった。

(8') 交絡因子としてのE大学 総合診療に対する指向別 [%]

総合診療 に対する 指向	出身大学	1. 解決 しなくとも 赴任し たい (意欲的)	2. 積極 的に赴任 したいと 思う	3. 上記 以外の課 題が解決 したら、 良い	1-3. (意欲的 + 肯定的)	4. あ まり赴 任した くない	5. 絶 対に赴 任した くない	4+5. (消極的)	6. わ から ない	無回 答
1) 総合診 療に対す る指向あ り	E大学(21名)	19.0	28.6	28.6	76.2	9.5	0.0	9.5	14.3	0.0
	E大学以外(89名)	10.1	28.1	36.0	74.2	15.7	1.1	16.9	7.9	1.1
	無回答(7名)	14.3	0.0	57.1	71.4	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0
	計(117名)	12.0	26.5	35.9	74.4	14.5	0.9	15.4	9.4	0.9
2) 総合診 療に理解 のある専 門医	E大学(45名)	4.4	8.9	28.9	42.2	33.3	6.7	40.0	17.8	0.0
	E大学以外(643名)	2.6	4.2	28.9	35.8	42.8	14.8	57.5	5.9	0.8
	無回答(22名)	0.0	0.0	22.7	22.7	45.5	22.7	68.2	4.5	4.5
	計(710名)	2.7	4.4	28.7	35.8	42.3	14.5	56.8	6.6	0.8
3) 将来の 総合診療 に含み	E大学(30名)	16.7	20.0	33.3	70.0	23.3	3.3	26.7	3.3	0.0
	E大学以外(243名)	4.9	12.8	40.3	58.0	27.2	7.8	35.0	6.6	0.4
	無回答(7名)	14.3	0.0	42.9	57.1	28.6	0.0	28.6	14.3	0.0
	計(280名)	6.4	13.2	39.6	59.3	26.8	7.1	33.9	6.4	0.4
4) 賛同で きない	E大学以外(21名)	4.8	0.0	33.3	38.1	42.9	19.0	61.9	0.0	0.0
	計(21名)	4.8	0.0	33.3	38.1	42.9	19.0	61.9	0.0	0.0
5) 概念が 理解でき ない	E大学(2名)	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	E大学以外(24名)	0.0	8.3	41.7	50.0	12.5	4.2	16.7	29.2	4.2
	無回答(5名)	0.0	0.0	40.0	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0
	計(31名)	3.2	6.5	38.7	48.4	12.9	9.7	22.6	25.8	3.2
6) その他	E大学(6名)	33.3	0.0	50.0	83.3	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0
	E大学以外(24名)	0.0	8.3	20.8	29.2	33.3	25.0	58.3	8.3	4.2
	無回答(2名)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0
	計(32名)	6.3	6.3	25.0	37.5	28.1	21.9	50.0	6.3	6.3
無回答	E大学(2名)	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	E大学以外(37名)	8.1	8.1	16.2	32.4	40.5	13.5	54.1	8.1	5.4
	無回答(10名)	0.0	0.0	10.0	10.0	30.0	10.0	40.0	0.0	50.0
	計(49名)	6.1	8.2	14.3	28.6	36.7	12.2	49.0	6.1	16.3
全体	(1240名)	4.7	8.6	31.5	44.8	34.8	11.6	46.5	7.2	1.5

a) 2×2表での分析[意欲的] (6. わからないおよび無回答を除く) E大学以外

《総合診療に対する指向》 \ 《赴任の意思》	1. (意欲的)	それ以外 (2-5)	(意欲的) / [(.意欲的)+(それ以外)](%)
1) 総合診療に対する指向あり(81名)	9	72	11.1
2) 総合診療に理解のある専門医(600名)	17	583	2.8
3) 将来の総合診療に含み(226名)	12	214	5.3
4) 総合診療に賛同できない(21名)	1	20	4.8
5) 総合診療の概念が理解できない(16名)	0	16	0.0
6) その他(21名)	0	21	0.0
無回答(32名)	3	29	9.4
全体(997名)	42	955	4.2

上記について、全体で有意差が認められた項目について検討する。

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)	$\chi^2 = 13.31$ (両側検定) P = 0.00176 有意水準1%で有意 [Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]
1) 指向あり(81名)	9	72	
2) 専門医を指向(600名)	17	583	

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)	$\chi^2 = 2.972$ (両側検定) P = 0.09211 有意差なし [Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]
2) 専門医を指向(600名)	17	583	
3) 将来に含み(226名)	12	214	

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)	$\chi^2 = 10.90$ (両側検定) P = 0.00405 有意水準1%で有意 [Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]
1) 指向あり(81名)	9	72	
2)-5) 指向以外(863名)	30	833	

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)	$\chi^2 = 8.430$ (両側検定) P = 0.00504 有意水準1%で有意 [Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]
1)+3) 指向あり+将来に含み(307名)	21	286	
2)+4)+5) 専門医指向、賛同・理解できない(637名)	18	619	

E大学出身以外の医師においては、総合診療指向あり vs. 専門医指向、総合診療指向あり vs. 総合診療指向以外(2-5)、「総合診療指向あり+将来の総合診療に含み」vs. 「専門医指向+賛同・理解できない」の間で、へき地医療に意欲的な医師の割合に有意差が認められた。

a) 2×2表での分析[意欲的] (6. わからないおよび無回答を除く) E大学

《総合診療に対する指向》 \ 《赴任の意思》	1. (意欲的)	それ以外 (2-5)	(意欲的) / [(意欲的)+(それ以外)](%)
1) 総合診療に対する指向あり(18名)	4	14	22.2
2) 総合診療に理解のある専門医(37名)	2	35	5.4
3) 将来の総合診療に含み(29名)	5	24	17.2
4) 総合診療に賛同できない(0名)			
5) 総合診療の概念が理解できない(2名)	1	1	50.0
6) その他(6名)	2	4	33.3
無回答(1名)	0	1	0.0
全体(93名)	14	79	15.1

上記について、全体で有意差が認められた項目について検討する。

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)	$\chi^2 = 3.524$ (両側検定) P = 0.08188 有意差なし [Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]
1) 指向あり(18名)	4	14	
2) 専門医を指向(37名)	2	35	

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)	$\chi^2 = 2.402$ (両側検定) P = 0.22592 有意差なし [Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]
2) 専門医を指向(37名)	2	35	
3) 将来に含み(29名)	5	24	

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)	$\chi^2 = 1.296$ (両側検定) P = 0.44607 有意差なし [Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]
1) 指向あり(18名)	4	14	
2)-5) 指向以外(68名)	8	60	

	1. (意欲的)	それ以外(2-5)	$\chi^2 = 2.330$ (両側検定) P = 0.21060 有意差なし [Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]
1)+3) 指向あり+将来に含み(47名)	9	38	
2)+4)+5) 専門医指向、賛同・理解できない(39名)	3	36	

E大学卒業生に限ると、有意差は認められなかった。例数が少ない影響もあると思われる。

b) 2×2表での分析〔(意欲的+肯定的) E大学以外

《総合診療に対する指向》 \ 《赴任の意思》	(意欲的+肯定的) (1-3)	消極的 (4-5)	(意欲的+肯定的) / [(意欲的+肯定的)+(消極的)] (%)
1) 総合診療に対する指向あり(81名)	66	15	81.5
2) 総合診療に理解のある専門医(600名)	230	370	38.3
3) 将来の総合診療に含み(226名)	141	85	62.4
4) 総合診療に賛同できない(21名)	8	13	38.1
5) 総合診療の概念が理解できない(16名)	12	4	75.0
6) その他(21名)	7	14	33.3
無回答(32名)	12	20	37.5
全体(997名)	476	521	47.7

	意欲的+肯定的	消極的
1) 指向あり(81名)	66	15
2) 専門医を指向(600名)	230	370

$\chi^2 = 54.07$   
(両側検定)  $P < 0.00001$  有意水準1%で有意  
[Fisherの直接確率計算法(2×2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
1) 指向あり(81名)	66	15
3) 将来に含み(226名)	141	85

$\chi^2 = 9.896$   
(両側検定)  $P = 0.00222$  有意水準1%で有意  
[Fisherの直接確率計算法(2×2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
1) 指向あり(81名)	66	15
4) 賛同できない(21名)	8	13

$\chi^2 = 15.76$   
(両側検定)  $P = 0.00020$  有意水準1%で有意  
[Fisherの直接確率計算法(2×2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
2) 専門医を指向(600名)	230	370
3) 将来に含み(226名)	141	85

$\chi^2 = 38.40$   
(両側検定)  $P < 0.00001$  有意水準1%で有意  
[Fisherの直接確率計算法(2×2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
2) 専門医を指向(600名)	230	370
5) 理解できない(16名)	12	4

$\chi^2 = 8.784$   
(両側検定)  $P = 0.00400$  有意水準1%で有意  
[Fisherの直接確率計算法(2×2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
1) 指向あり(81名)	66	15
2)-5) 指向以外(863名)	391	472

$\chi^2 = 38.80$   
(両側検定)  $P < 0.00001$  有意水準1%で有意  
[Fisherの直接確率計算法(2×2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
指向あり+将来に含み [1+3](307名)	207	100
2)+4)+5) 専門医指向、賛 同・理解できない(637 名)	250	387

$\chi^2 = 65.87$   
(両側検定)  $P < 0.00001$  有意水準1%で有意  
[Fisherの直接確率計算法(2×2表)]

E大学以外については「意欲的+肯定的」についても、「意欲的」と同様の結果であった。

b) 2×2表での分析〔(意欲的+肯定的) E大学

《総合診療に対する指向》 \ 《赴任の意思》	(意欲的+肯定的) (1-3)	消極的 (4-5)	(意欲的+肯定的) / [(意欲的+肯定的)+(消極的)] (%)
1) 総合診療に対する指向あり(18名)	16	2	88.9
2) 総合診療に理解のある専門医(37名)	19	18	51.4
3) 将来の総合診療に含み(29名)	21	8	72.4
4) 総合診療に賛同できない(0名)			
5) 総合診療の概念が理解できない(2名)	1	1	50.0
6) その他(6名)	5	1	83.3
無回答(1名)	1	0	100.0
全体(93名)	63	30	67.7

	意欲的+肯定的	消極的
1) 指向あり(18名)	16	2
2) 専門医を指向(37名)	19	18

$$\chi^2 = 7.373$$

(両側検定) P = 0.00602 有意水準1%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
1) 指向あり(18名)	16	2
3) 将来に含み(29名)	21	8

$$\chi^2 = 1.800$$

(両側検定) P = 0.27682 有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
1) 指向あり(18名)	16	2
4) 賛同できない(0名)	0	0

$$\chi^2 = 0.000$$

(両側検定) P = 1.00000 有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
2) 専門医を指向(37名)	19	18
3) 将来に含み(29名)	21	8

$$\chi^2 = 3.020$$

(両側検定) P = 0.12739 有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
2) 専門医を指向(37名)	19	18
5) 理解できない(2名)	1	1

$$\chi^2 = 0.00139$$

(両側検定) P = 1.00000 有意差なし  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
1) 指向あり(18名)	16	2
2)-5) 指向以外(68名)	41	27

$$\chi^2 = 5.207$$

(両側検定) P = 0.02570 有意水準5%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

	意欲的+肯定的	消極的
指向あり+将来に含み [1+3](47名)	37	10
2)+4)+5) 専門医指向、賛 同・理解できない(39名)	20	19

$$\chi^2 = 7.181$$

(両側検定) P = 0.01132 有意水準5%で有意  
[Fisher の直接確率計算法 (2×2表)]

E大学に限定すると、総合診療指向 vs. 専門医を指向、総合診療指向 vs. 指向以外、「総合診療指向+将来に含み」 vs. 「専門医指向+賛同できない+理解できない」で有意な差が認められた。

9. へき地に赴任するための診療面の条件

へき地に勤務する意思について、2. 積極的に赴任したい(107名)、3. 上記以外の課題が解決したら、赴任しても良い(391名)と回答した医師(合計498名)が赴任しても良いと考える条件

[へき地勤務経験の有無別]

a) 3つまで回答の合計[%]

《項目》	経験あり (230名)	経験なし (264名)	全体 (498名)	あり/なし	P値
臨床技術の維持・向上のための定期的研鑽の機会	24.3	24.6	24.5	0.9889	1.00000
冠婚葬祭など不在となるときへの代診医の確保	32.2	38.3	35.3	0.8410	0.18673
後方病院との密接な連携	41.7	44.7	43.0	0.9338	0.52504
学会参加についての理解	20.0	11.0	15.1	<b>1.8207</b>	<b>0.00575</b>
専門診療科の非常勤医師による定期的診療支援	27.8	30.3	29.1	0.9183	0.55335
専門医にコンサルトできるシステム	31.3	39.0	35.7	0.8024	0.08951
休日・時間外の受診相談に対応するシステム	19.1	13.3	15.9	1.4430	0.08524
休日・時間外の搬送を含めた連携システム	33.9	36.4	35.1	0.9326	0.57281
専門医取得のための研修が受けられること	7.8	8.7	8.6	0.8983	0.74659
学位取得のための研究が続けられること	2.2	3.0	2.8	0.7174	0.58803
赴任時に赴任期間が決まっていること	23.5	26.5	25.1	0.8855	0.46741
自分の専門領域の診療機器が整備されていること	6.1	6.1	6.0	1.0043	1.00000
赴任した診療所の運営について関与できること	5.2	1.5	3.2	<b>3.4435</b>	<b>0.02297</b>
研究を行なう際の費用の補助	2.2	1.1	1.6	1.9130	0.48178
その他	3.0	2.3	2.6	1.3391	0.77949

b) 最重要と回答したものの割合[%]

《項目》	経験あり (230名)	経験なし (264名)	全体 (498名)	あり/なし	P値
臨床技術の維持・向上のための定期的研鑽の機会	8.7	6.1	7.2	1.4348	0.29950
冠婚葬祭など不在となるときへの代診医の確保	9.6	8.3	9.0	1.1478	0.63874
後方病院との密接な連携	15.2	15.9	15.5	0.9565	0.90122
学会参加についての理解	3.0	0.4	1.6	<b>8.0348</b>	<b>0.02797</b>
専門診療科の非常勤医師による定期的診療支援	3.5	6.1	4.8	0.5739	0.21204
専門医にコンサルトできるシステム	13.5	17.8	15.7	0.7571	0.21651
休日・時間外の受診相談に対応するシステム	5.7	4.5	5.0	1.2435	0.68180
休日・時間外の搬送を含めた連携システム	12.2	14.4	13.3	0.8458	0.50897
専門医取得のための研修が受けられること	0.9	3.4	2.4	0.2551	0.06935
学位取得のための研究が続けられること	0.4	0.0	0.2	***	0.46559
赴任時に赴任期間が決まっていること	10.4	12.1	11.2	0.8609	0.57280
自分の専門領域の診療機器が整備されていること	0.0	0.8	0.4	0.0000	0.50136
赴任した診療所の運営について関与できること	0.4	0.4	0.4	1.1478	1.00000
研究を行なう際の費用の補助	0.0	0.0	0.0	***	1.00000
その他	2.2	1.9	2.0	1.1478	1.00000

ほとんどの項目で、へき地経験により差が認められなかったが、3つまでの合計で「学会参加についての理解」「赴任した診療所の運営への関与」、最重要で「学会参加についての理解」は有意差が認められた。

10. へき地に赴任するための生活面の条件

へき地に勤務する意思について、2. 積極的に赴任したい(107名)、3. 上記以外の課題が解決したら、赴任しても良い(391名)と回答した医師(合計498名)が赴任しても良いと考える条件

[へき地勤務経験の有無別]

a) 3つまで回答の合計[%]

《項目》	経験あり (230名)	経験なし (264名)	全体 (498名)	あり/なし	P値
自宅から通勤できる(通勤が許される)こと	26.1	22.7	24.5	1.1478	0.40155
単身赴任の際の二世帯分の生活費の補助	27.0	21.6	23.9	1.2485	0.17171
単身赴任の際の週末帰宅等の旅費の補助	31.3	30.3	30.7	1.0330	0.84529
子どもが遠方の学校に通学する際の援助	14.3	13.6	13.9	1.0522	0.89661
配偶者同士のネットワーク支援	5.2	7.2	6.2	0.7249	0.45774
育児をしながら勤務できる保育環境の整備	18.3	21.6	20.3	0.8458	0.36964
法律で定められた休日が取得できること	45.2	54.9	50.2	<b>0.8233</b>	<b>0.03793</b>
法律で定められた勤務時間が守られること	23.5	29.5	26.7	0.7946	0.15349
住民に地域の人間として認められること	6.5	6.4	6.4	1.0128	1.00000
生活が安定する十分な報酬	45.2	45.1	45.0	1.0031	1.00000
その他	2.6	2.3	2.4	1.1478	1.00000

b) 最重要と回答したものの割合[%]

《項目》	経験あり (230名)	経験なし (264名)	全体 (498名)	あり/なし	P値
自宅から通勤できる(通勤が許される)こと	7.4	6.1	6.6	1.2196	0.59122
単身赴任の際の二世帯分の生活費の補助	5.7	4.2	4.8	1.3565	0.53075
単身赴任の際の週末帰宅等の旅費の補助	3.9	2.3	3.0	1.7217	0.30700
子どもが遠方の学校に通学する際の援助	4.3	4.2	4.2	1.0435	1.00000
配偶者同士のネットワーク支援	0.9	1.1	1.0	0.7652	1.00000
育児をしながら勤務できる保育環境の整備	8.7	7.6	8.2	1.1478	0.74143
法律で定められた休日が取得できること	23.0	29.9	26.5	0.7701	0.10276
法律で定められた勤務時間が守られること	7.0	6.8	6.8	1.0203	1.00000
住民に地域の人間として認められること	1.7	3.4	2.6	0.5101	0.27550
生活が安定する十分な報酬	17.8	14.8	16.1	1.2067	0.39232
その他	2.6	1.5	2.0	1.7217	0.52553

生活面については、へき地勤務の経験を持たない医師で、「定められた休日の取得」をあげるものが有意に多かった。

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
該当なし							

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
今道英秋	離島・へき地で対応すべき眼科・耳鼻咽喉科の救急疾患	救急医療ジャーナル	16巻4号	14-17	2008
今道英秋、 鈴川正之	離島等のへき地を有する小規模市町村の初期救急医療体制の分析および初期救急医療体制を向上させるための方策に関する検討	日本臨床救急医学会雑誌	12巻3号	335-342	2009
今道英秋	へき地・離島医療マニュアル	救急医学	33巻7号	783-786	2009
今道英秋	へき地医療の現状とへき地医療支援のあるべき姿	救急医学	33巻7号	787-791	2009
今道英秋	「離島へき地医療に関わる教育の研修のあり方」～「へき地・離島医療マニュアル」	へき地離島救急医療研究会会誌	10巻	27-31	2009
今道英秋	へき地における医療に必要とされているもの	厚生労働	65巻4号	50	2010

